

190人、これは昨年度(令和3年度)、市内で道に迷われ警察が保護した方の人数です。時間や場所、周囲の人と自分との関係を理解し認識する能力を「見当識」といいますが、見当識が低下すると、外出先で道に迷うことがあります。その時に、周囲の人がその人のことを知らなくても、ご家族に連絡がついて家に帰ることができる、その一助となるのが、「茨木童子見守りシール」です。このシールはQRコード®と登録番号が記載されていて、QRコード®を読み取ると、ご覧のような★画面が表示されます。表示された連絡先のいずれかに電話をしていただくと、事前に登録された情報から

★QRコード®を読み取ると、
下図が表示されます

身元が分からない場合は
最寄りの警察か次の連絡先まで
ご連絡ください。

〇〇〇地域包括支援センター
TEL 072-●●●●-●●●●
茨木市福祉総合相談課
TEL 072-622-8121(代表)



茨木童子見守りシール サイズ たて2.5cm×よこ4cm



「茨木童子見守りシール」

ご存じですか

茨木市認知症高齢者見守り事業

オレンジ新聞



令和5(2023)年3月
発行
発行元: 茨木市

認知症 **オレンジ** ダイヤル

ココロ 晴れる

☎ 0120-556-806

(医療法人恒昭会 藍野病院内)

受付時間 月～金曜日 午前9時～午後5時

(土日・祝日・年末年始 12月29日～1月3日除く)

認知症地域支援推進員(医療系)が対応します。

メールフォームからも相談できます。



茨木市 認知症総合支援事業

検索

認知症のことを正しく理解しよう

認知症についての相談会をオンラインで開催 医師が答える相談会

新型コロナウイルスの影響で、医療関係者の市民向け講演会や研修が減り、一方でオンラインを使用することが増えたためアルツハイマー月間2022のイベントとして、令和4年9月16日（金）に医師が答える相談会をオンラインにて実施いたしました。対象の方は認知症の人の家族、認知症について知りたい市民の皆様で、医師は茨木市認知症初期集中支援チーム専門医の「おくだ内科クリニック」の奥田先生に担当していただきました。奥田先生から「直接聞きたいことに答えるほうがよいのでは？」と言っていたが、「認知症の方の自宅での対応の仕方」や、「お薬について」等、多種多様な質問に、事細かくていねいに回答していただきました。とても好評で1時間があったという間に過ぎました。参加者の方からは、「対応の仕方について聞けてよかった」「今後に生かしていきたい」などの意見がありました。



啓発イベントを イオンタウン茨木太田にて開催 認知症を知ろう

令和4年9月29日（木）にイオンタウン茨木太田にて啓発イベント『認知症を知ろう』を開催しました。

市内のいばらきオレンジかふえ（認知症カフェ）の紹介、人形劇「ばあばは、だいじょうぶ」の人形と絵本展示、家族の接し方がわかるアニメの動画上映、ストレスチェックやもの忘れ相談、血圧測定や病院の認知症病棟の訓練で使用して

いるような脳トレを行いました。参加者からは「今度、いばらきオレンジかふえに行ってみようと思う」「脳トレは難しかったが楽しかった！自宅でもやっていたい」などの意見がありました。今後もいろいろな取り組みを実施して認知症の人やご家族が安心して住みなれた地域で暮らし続けていければと思います。





認知症の人やご家族等が地域で憩える場



いばらきオレンジかふえ（認知症カフェ）

認知症カフェをご存じですか？認知症の人やそのご家族、地域のひと誰もが気軽に集い、参加者どうしの交流や、情報の交換を行いながら過ごせる場です。市内には20か所以上の「いばらきオレンジかふえ（認知症カフェ）」があります。ご家族同士でお話の輪が広がって介護などの対応について相談されていたり、認知症の人たちと折り紙や新聞紙などでカバンや紙ヒコキを作ったり、

おいしいコーヒーを片手に笑いが絶えない場所になっていて、誰もが集い憩える場所です。

気軽に
お立ち寄りください♪



いばらきオレンジかふえマップ （令和4年度版）

いばらきオレンジかふえの一覧を掲載したマップです。市役所や地域包括支援センターに設置しています。市のホームページからご覧いただけます。



では、そのいばらきオレンジかふえから、1つのカフェをご紹介します。毎月第3土曜日に藍野大学でDLB（レビー小体型認知症）カフェを開催しています。認知症の人やそのご家族とおいしいコーヒーを飲みながらみなさんで楽しいひと時を過ごしています。認知症当事者の人からは、レビー小体型認知症の症状といわれる幻視についての体験談をお聞きしたり、ご家族には対応の仕方などをお伝えしています。参加



された当事者の方の声として、「同じ症状の人と話せて私だけじゃないんだ」と心強く思われた方や、ご家族同士では「幻視が見えると言われた時は、その見えるところを振り払ってあげたらいいよ。消えるから」「あんまり否定しないであげてね」などの意見がありました。今後は勉強会や研修会も予定しており、ご興味がある方は藍野大学医療保健学部看護学科（072-627-1711）へ連絡してみてください。





ご家族や専門職の方の学びと交流の場



家族教室

—— 認知症に関する講義や対応を学ぶ



家族教室は、認知症に関する講義を受けたり、ご家族同士が交流して認知症の人の対応の仕方を学んだりする場所です。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、オンラインにて認知症家族教室を開催しました。「食事について」や「認知症の人との関わり方」の講義の後に、画面越しでディスカッションを行いました。「本人が安心できるものなど見つけてあげてね」「本人が怒っているときは、その場から離れて少し時間がたつてから戻るようにしたら」「話題を変えてみるのもいいと思うよ」などのアドバイス



茨木市認知症
総合支援事業
ホームページ

や、「食事の栄養バランスを考えていきたい」「自宅で介護している夫の対応に生かしていきたい」「これから継続的に開催してほしい」などの感想がありました。家族教室に参加していただくことにより、他の家族の方よりアドバイスをいただいて介護に生かしたり、家族同士でつながることもできます。ご興味がある方は「茨木市認知症総合支援事業」のホームページが広報誌をご覧ください。



認知症 ワンポイントアドバイス

もの忘れを予防するために
次のことを実践してみましょう

1. 規則正しい生活をしましょう
2. バランスのよい食事を摂るようにしましょう
3. 何か趣味をみつけるようにしましょう
4. 前向きに考えるようにしましょう
5. 適度に運動をするようにしましょう
6. 他の人とつながりをもつようにしましょう

早速、毎日の生活に取り入れてみましょう



このディスカッションではグループのメンバー内で意見を出し合って見立ての方法を学びました。

参加者の方からは、「認知症の仕組みを基本から学ぶことができて良かった」「ディスカッションを行うことにより、いろいろな意見が出て勉強になった」「もっとディスカッションが良かった」「親の介護に今回の講座で勉強したことを生かしていきたい」などの意見がきかれました。講演とディスカッションで見立ての方法を学ぶことにより、認知症の症例に対する「考え方」や「知識」、「どのように対応すべきか」を得られることができました。今後も「認知症見立て塾」は継続的に行う予定です。

認知症講座と家族教室合同開催

令和4年6月11日(土)にケアスタッフから家族へのアドバイスを行ったりする場として、オンラインにて認知症ケアスタッフのための認知症講座と家族教室を合同で開催しました。プログラムは、認知症専門医の園田 薫先生(藍野病院)に「認知症見立て塾」の講演を行っていただきました。認知症見立て塾とは、みんなが認知症の仕組みと見立てを症例から学ぶということで、園田 薫先生が認知症の仕組みや特徴の講演を複数回行い、それに合わせてディスカッションをグループにわかれて行いました。